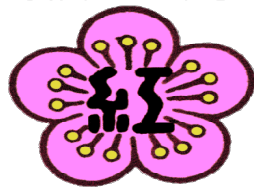


創立明治7年
開校147周年

令和3年度 紅梅小だより

赤塚っ子学びのエリア



紅梅

〇たくまい子

〇よく考える子

〇思いやりのある子



12月号

令和3年11月30日
板橋区立紅梅小学校
校長 小宮孝之

伝える力を高めた「学習発表会」

校長 小宮 孝之

一年納めの師走を迎えます。保護者の皆様、地域の皆様、お健やかに年の瀬をお迎えになっていらっしゃいますでしょうか。今年もスポーツフェスタ、赤塚農業まつりを始め、地域のイベントがたくさん中止となりました。紅梅小学校も学芸会や運動会は規模を縮小したり形式を変えたりして、何とか実施に至りました。

そんな中で、青健さんが開催してくださった「親子芋掘り」、1泊になってしまいました。6年生の「日光移動教室」など、子供たちの願いを叶える行事が少しずつではありますが、再開できるようになってきたことは、大変嬉しく感じています。

11月18日から20日の三日間、学習発表会を行いました。当初は学芸会を予定しておりましたが、体育館に大勢が集まるのはまだ難しく、マスクも外せない、歌も歌えない……と制限が完全解除されておられませんので、その状況でできることを先生方が一生懸命に考えて、「学習発表会」というスタイルになりました。子供たちは低中高に分かれてお互いに発表を見合いました。保護者の皆様には金曜、土曜の二日間、ご家庭お一人ずつ、鑑賞をして頂きました。

学習発表会は「発表のために作品を創る」ではありません。なかなかお見せできなかった普段の学習の成果を形にしたものです。ですから、学年によって選ぶ教科や発表の形式は異なります。先生方は発達段階をよく吟味し、適切な目標を与えて練習の指導に当たりました。めあてが的確だったからこそ、子供たちは「自身で創っていく表現」を意識でき、目標とゴールがよく見えたのだと思います。

1年生 音読劇「スイミー」



歌を事前に録音し、お面を手作りし、台詞と振り付けとダンスを覚え……と、たくさんの準備、練習をしてきました。当日は一生懸命に自分の言葉を言いました。マスクをしていましたが、それでも大きな口を開けて自分の言葉を言っていることがよく分かりました。発声の方法をしっかりと覚えたからできたのだと思います。魚や海の生き物になりきって演じていました。

2年生 音読劇「ニャーゴ」

1年生の時と比べると、とても大きな声が出せるようになりました。動きも大きくなって、ダイナミックで迫力ある演技になりました。声を合わせることで、台詞を繋げていくことがとても上手にできました。国語の時間に教材をたくさん読んで、たくさん考え、たくさん話し合ってきたからこそ、登場人物の気持ちがしっかり分かったのだと思います。一人一人が自分の役になりきってました。

3年生 音読劇「モチモチの木」

3年生が劇の最後に皆で合わせて言った言葉は「3年生一同」でした。まさに全員が一つになって物語を進めていく団結力を

見せてくれました。手作りの絵本を広げるタイミング、リズムに合わせた台詞回し、ステップとタップ、そうしたものがピタッと合う気持ちよさを感じさせてくれました。練習の時からどうしたら皆が一つになれるかを考え、挑戦してきたのだということがよく分かりました。

4年生 音読劇「ごんぎつね」

喋るだけが「伝える」方法ではない、ということを感じさせられました。言葉を出さない多くの人たちがピタッと止まって堂々と立っていたことが「空気」と「緊張感」を生み出していました。四つの学級の気持ちが集結すると、こんなに力強さが生まれるのだということに驚かされました。個人としても、人前で演じるときには不安や恐さ、恥ずかしさなど、様々な感情が噴出します。それに打ち勝ったからこそ、力が出し切れたのだと思いました。

5年生 総合的な学習の時間「注目の多いお米屋」

低・中学年は、教科書教材の暗唱が中心となった発表、「記憶」と「再現」の発表でした。5年生は全く異なる作品を創りました。「創造」、つまり「生み出すこと」、そして「修正」、つまり現状に満足せず、さらなる高みを目指す取り組みです。全員が主体となって関わり、「自分たちの作品」を創る流れの中で、一人一人が自分の伝えたいことを探し、向き合い、自分の長所、自分らしさに出会っていきました。

6年生 総合的な学習の時間・社会科・外国語「未来へつなぐ」

最高学年として後輩たちに何を伝えていくのか、卒業までに何を紅梅小に残していくのか、そういうことに向き合い、丁寧に思いを込めて発表を創っていきました。教科の学習や行事の経験は自分たちが伝えるべきものを見つけるための旅だったようです。今回、その学びをどのような形に表していくのか、という表現の工夫、一人のアイデアを全員で共有していくというチーム力に力を注ぎました。5年生に向けて「私たちはここまで来た。みんなもしっかりと上がって来るんだよ」というエールも含まれていたように感じます。「チーム紅梅」のトップとしての使命を果たす勇姿を見せてもらいました。



子供たちは学習発表会で大きく成長しました。子供たちを導いてきた先生方の指導力も向上しました。揃って一つ、ステージを上がっていきました。

さて、明日から12月、2学期の学習、生活のまとめの時期に入ります。1日からは個人面談が始まります。昨年度から、「赤塚地区学びのエリア」の学校では、2学期の通知表の所見の内容は個人面談の場で詳細にお伝えし、これからの一人一人のお子さんの目標や課題について、保護者の皆様と話し合い、共有していくことになりました。何卒、宜敷くお願いいたします。